長和町プロジェクト企画書

狐たちの座談会

メディア３年　66番　積田優衣

◯コンセプト

民話を面白く、親しみやすい存在に。

◯使用した民話

清水坂の狐・鳥羽山の古狐・伝蔵稲荷

◯作品について

狐と神様の擬人化キャラ４人による朗読的な映像作品。

近い存在ではない民話の狐たちが、もしかしたら今も近くで生活しているかもしれない。
そんな風に思えるような、それぞれの民話の内容を狐たちが楽しくおしゃべりする映像作品です。
それを見て大体の民話の内容が掴めるよう台本を作成しました。

キャラはそれぞれの民話から狐が一人づつ、伝蔵稲荷から久津根稲荷様を使用しキャラクターデザインをしました。

親近感を出すため時代背景は現代。（令和）
服装もしっかりとデザインしましたが、作品内では親近感を優先し全員パジャマ姿に決定。

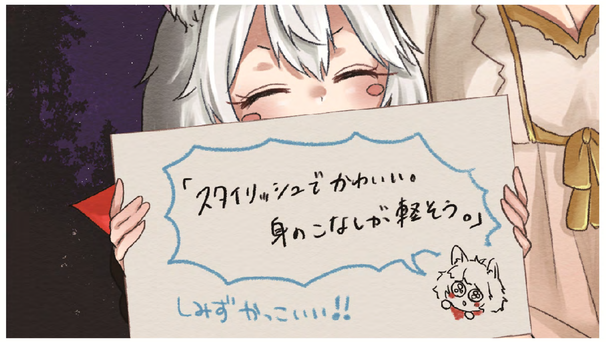
○キャラクターデザイン

民話のキャラということで一見和風ですが、現代を生きているためそれぞれ洋も取り入れたデザインになっています。
左の画像は作中のパジャマ姿です。

左から
伝蔵狐（でんぞうぎつね）
お稲荷様（おいなりさま）
鳥羽（とば）
清水（しみず）

○作中画像

作中ではそれぞれのキャラが話すときにセリフにしっかりと場面が合うよう、たくさんの差分（右画像は一部）を用意し制作しました。

長和町役場の職員様、小学校の児童の方々にもご協力いただき、作中でキャラクターのヴィジュアルでの人気ランキングを発表をすることで、作品と長和町との関わりがグッと深まりました。

またそれぞれのキャラは女子美術大学メディア表現学科の生徒に CV を担当していただきました。